



古長谷 稔
(改革みしま)



長伏公園を子育て・スポーツ・健幸の拠点に

Q 大型遊具が設置される長伏公園をグラウンドや松毛川の自然と連携させて、子育て・スポーツ・自然体験できる健幸拠点としてはどうか。

A 長伏公園は、健康づくりや交流の場に加え、松毛川を活用したウォーキングコース、狩野川のサイクルートの休憩場所としての活用など、スポーツ健幸都市の拠点になることも考えられる。幅広い世代に愛されるウェルビーイングを実感できる空間の整備を進める。



幸福度指標を政策にどう取り込んでいくか

Q 総合計画にウェルビーイング指標（幸福度指標）を導入して強みと弱みを可視化する中で、政策形成にどう反映していくのか。

A 現在策定中の第5次三島市総合計画後期基本計画において、ウェルビーイング指標を導入していく。本市の強みや市民の主観的な評価の特徴を明らかにしながら重点プロジェクトを示すとともに、指標の周知を図り幅広い市民意見の聴取と施策への反映に努めていく。



沈 久美
(改革みしま)



三嶋大祭りにおける危機管理体制および大盆踊り大会の定番化

Q 本市の一大イベントであり顔でもある三嶋大祭りについて振り返り総括する中で、新聞記事にもなったけが人発生の件について伺う。

A 頼朝公旗挙げ行列において、馬が大社境内から道路に出る際に突然急発進し、お二人の方が、接触により転倒し、軽傷を負う事故が発生してしまった。今後、安全な大祭りとなるよう、実行委員会において危機管理マニュアルを警察と協議しながら作成している。

Q 提案者の一人として今後の定番化を願うが、大祭り最終日の夜、三嶋大社境内にて実施された「第2回大盆踊り大会」の成果を伺う。

A 三嶋大祭り最終日の大盆踊り大会には、約2,500人が参加した。農兵節やみしまサンバの他に、盆踊りの定番曲をはじめ、真夏の夜を彩るにぎやかなリズムに合わせ、市民も観光客も一体となって踊り、大いに盛り上がった。



他の質問事項
空き家の適正管理と発生予防の仕組みづくり



石井 真人
(覚悟の会)



庁舎移転後の大社町別館の活用方法

Q 新庁舎を北田町へと望んだ4割の市民のためにも、大社町別館をサテライト機能を持たせたミニ市役所として生かすことはできないか。

A 窓口としてのサテライト機能について、中郷・北上文化プラザなどそれなりに離れた施設をDX技術でつなぎサービスを提供するような研究を進めるが、大社町別館と南二日町広場の距離は900メートル程度と近接しており、サテライト施設としての整備は適当とは考えられない。



三島駅南口東街区再開発事業の子育て機能は

Q 小規模保育園の新設ではなく、朝夕に子どもを送迎する「子ども送迎ステーション」を再開発区域内に設けることはできないか。

A 具体的な内容や、事業スキーム、施設要件の確認など、実現に向けた課題が想定されるため、専門的な意見を伺うとともに、フロアを取得・運営する事業者との協議・調整も必要となる。子育て支援策の充実につながる機能の実現に向け検討を進めていく。

他の質問事項
三島市のリスクマネジメント体制



河野 月江
(日本共産党議員団)



堆肥でも耕種農業を支える酪農家への支援を

Q 市内に7戸ある酪農家の経営は、餌代・光熱費・燃料費高騰や猛暑による乳量低下の厳しい状況にあるが、新たな支援策は可能か。

A 市では国の交付金を活用した粗飼料やおが粉の購入費補助に加え、酪農ヘルパーの利用や疾病対策など市独自の支援も継続して行っている。今後も酪農家のニーズに応じ支援制度を検証する中で、畜産関係者と連携し、持続的に発展していけるよう取り組む。



保険証廃止に伴う国保税滞納世帯への対応

Q 経済的事情で国保税を1年以上滞納している世帯に対し、10割負担のペナルティを課すべきでない「特別な事情」の基準は何か。

A 国の通知によると、災害や盗難等による財産被害、病気や怪我、事業の廃止や休止、事業における著しい損失等が挙げられており、また、保険税の納付に資する取り組みについても示されている。市では特別な事情の正確な判断と必要な取り組みを適切に行っている。

他の質問事項
三島駅南口東街区再開発事業への補助金増額



村田 耕一
(公明)



キャッシュレスクーポンキャンペーンの実施

Q 物価高騰対策として、還元率20%で対象を三島市民限定としたキャッシュレスクーポンキャンペーンを今年度中に実施できないか。

A 本市は、地域特性と市民ニーズに合致したデジタル商品券事業の効果的かつ公平な実現を目指す。国交付金を活用し、既存のプラットフォームの導入でシステム構築コストを削減し、迅速な経済対策につなげるとともに、デジタル利用格差対策も万全を期す。



国の小学校給食費一律助成を踏まえた対応

Q 2026年4月から国が小学校給食費無償化として、全国給食費平均月額4,688円を軸に一律に助成する案が出ているが不足分対応などを伺う。

A 現時点で、国や県から小学校給食無償化の具体的な制度設計や財源負担は示されていない。令和7年度は、食材費高騰を受け、保護者負担を据え置くため、約5,500万円を市が負担している。本市の対応については、今後示される国、県の方針に基づき検討していく。

他の質問事項
官民連携で三島市へ空飛ぶ車の運行ルートを



横山 雅人
(新風会)



市営墓地（三島墓園）

Q 三島墓園の募集方法および空き状況を含む募集状況から、空きがどのくらいになると運営に支障をきたすのか伺う。

A 現在48区画が空いており、過去3年間の年平均で約219万円歳出が歳入を上回っている。今後、歳出の執行方法を精査し、年1回の募集期間を複数回行い応募しやすくすることにより、使用者の拡大を図り持続可能な墓園の運営に努めていく。

長伏公園大型複合遊具の供用に向けて

Q 大型複合遊具なので事故やけがが心配されるが、事故やけがへの対応と保険適用はどうなるのか。

A 利用の多い時間帯のスタッフの追加、傷病が重い場合の救急対応、AEDの設置、緊急通報ボタンの必要性等を検討している。遊具の瑕疵等起因する事故には市が加入する保険等で補償することになるが、安全に楽しめるよう管理体制の構築・運用の準備を進めていく。

